



小学部徒競走



幼稚部趣向走



全校リレー



綱引き

無花果

No.174

平成29年7月22日発行
発行 秋田県立聴覚支援学校
秋田市上北手百崎
字諏訪ノ沢3番127

結果じゃなくて

校長 塚本 宏明



小学部の教室で育てていたモンシロチョウのさなぎが、みんなの見ている前で羽化しました。校長も感動して思わずカメラのシャッターを押したところ、3年生の琴音さんが、フラッシュはだめ、静かにしてねと、生命の神秘に触れるその瞬間をしっかりと見つめる姿がとても印象的でした。小学部では、キャベツの葉っぱについての観察からずつと育てて観察してきた結果の羽化ですから感動もひとしおだったと思います。羽化に立ち会っただけの校長と、卵から観察してきた子どもたちでは、その瞬間の意味がまるで異なります。

今年度、児童生徒会では、「言葉遣い」に気を付けようという活動を展開します。どうして「言葉遣い」？その背景には、(子どもたちの意見から)自分たちが礼儀を知らない、人間関係の問題が起こりやすい等の課題が出され、その解決策の一つとして、「言葉遣い」のこと、敬語のことが提案されました。自分たちのことを客観的に評価して、課題を整理し、具体的な行動まで計画することについては感心しました。先生たちからは、意識はりっぱだが、実践が伴って欲しい、目上(先輩)に対する敬語だけではなく、後輩に対する表現やお互いに尊重し合う気持ちが大切であるという指摘もありました。

カーナビは、自分がどこを走っているのかわからなくても、確実に目的地に導いてくれます。効率的に結論に導かれることはとても便利ですが、自分はどこにいて、どこに向かっているのか、周辺には何があるのか、地図を広げなければわからない世界もあります。

今年度、本校では、自らなぜ？どうして？と課題意識をもって学習に取り組む授業づくりを進めています。それは、結論に至る「過程」を大切に授業であり、議論したり、自分に問うたり、実験・観察をする時間を工夫し、自ら結論を発見する授業です。モンシロチョウの成長を見つめ続けた子どもたちの時間が共有できたように、多くの議論の時間が自分たちの行動を決めていくように、子どもたちみんなの経験から導かれる時間の共有を大切にしていきたいと思えます。

学部の行事コーナー

幼稚園

大型バスに乗って♪ 春の遠足♪

鈴木 るみ子



五月三十一日は、毎日「バスごっこ」を歌って楽しみにしていた遠足でした。秋田空港に行き、普段は入ることのできない空港の敷地内を案内していただきました。まずは大きな消防車にびっくり。高い運転席に乗せてもらって大喜びでした。そこへ飛行機が到着。滑走路の近くで見る飛行機は、大きくて迫力満点。音が体に響いてきます。展望デッキでも、次々に離着陸する飛行機に大興奮でした。またヘリコプターや除雪車に目を輝かせる子どもたちも。お昼は、みんな愛情いっぱいのお弁当を空っぽにし、おやつを取りかえつこを楽しみました。天気にも恵まれ、笑顔あふれる一日となりました。

小学部

上北手で「ことばあそびタイム」

小玉 幸子



小学部では今年度、地域を歩きながら「ことばあそびタイム」に取り組むことになりました。第一回は、直売センター「いぶきの里」へ出かけました。先生に渡された手紙を読んで、各自が野菜の面白い物です。「緑色でサラダに入れる」「赤くてまるい」「すりおろすとネバネバする」など、クイズのようなヒントを読んで野菜を探しました。買い物の後は、りんごジュースで元氣回復。帰り道は、おしゃべりと笑顔があふれ、まるで三人きょうだいの外出のような楽しい時間になりました。

中学部

海・山・文化を満喫

鈴木 亜希子



一泊二日で行われた宿泊学習。宿泊先の「あきた白神体験センター」へはリゾートしらかみ号で向かいました。時折、小雨がぱらついたものの、シーカヤック、漁師料理体験、トレッキング等の、普段はなかなかできない活動を思い切り楽しむことができました。「パドルの動かし方が難しかったです。」「みんなで協力して作った料理は格別でした。」「急な坂がたくさんあって、足が痛かったです。」「等、自分たちが体験したことをしっかりと振り返ることができました。これらの体験から学んだことを、この後の学校生活でも生かしてほしいと思います。

高等部

緊張感みなぎる 高等部暗唱発表会

播摩 友紀子



美しい日本語を身に付けるという目的で、高等部では毎年暗唱発表会を行っています。今回はかなりの長文であり、さらに全員が発表者ということでした。スタートから緊張感みなぎっていき、手話表現や声の大きさ、間の取り方などにも気を付けながら、毎日一文ずつコツコツと暗記した努力の成果を遺憾なく発揮していました。「時間をかけて、車や家などでたくさん声を出して練習しました。手話を大きく、間を取りながらはつきり、ゆつくり話すことができて満足です。」
(高一 小玉 未来)
「口癖になってしまっている言い回しがあって、きちんと覚えるのが大変でした。本番では緊張して震えてしまったけれど、ゆつくり話せたのではないかと思います。」
(高三 木村 明日香)

寄宿舎

みんなで活動

クリーンアップ

三浦 美由起

六月二十七日、クリーンアップ活動が行われました。クリーンアップ活動は、昭和四十九年から寄宿舎で行われている伝統的な行事です。

寄宿舎生のほかに、通学生や、ボランティアのみなさんも参加してください、総勢三十八名で、汗を流しました。今回は、いつも利用しているバス停を清掃箇所に加え、広範囲での活動となりましたが、お互い声を掛け合いながら、頑張っている姿が見られました。先輩方からの伝統を継承しつつ、これからも充実した活動を続けていきたいと思います。



運動会

「最高の一日」に

運動会実行委員長 鷲谷 和

五月二十日(土)、少し汗ばむほどの陽気で、絶好の運動会日和と言える快晴の中、運動会が開催された。

開会式後の試走式(聖火リレー)では、各学部の代表の幼児児童生徒と塚本校長、深澤PTA会長が聖火をつなぎ、高等部二年の齋藤昌哉さんが聖火を灯すと、盛大な拍手が送られた。

競技は、全力で走った徒競走、各学部の特徴を生かした趣向走、力と力がぶつかり合った綱引きなど熱戦が繰り広げられた。各組が趣向を凝らし、協力して取り組んできた応援合戦は、内容、完成度とも互いに譲らず、六人の審判の合計が同点になり、両組一位という結果であった。最終種目のリレーは、幼稚部からスタートして小中高とつなぎ、息詰まるデットヒートを制したのは赤組で、そのまま総合優勝も勝ち取った。

運動会後の児童生徒の表情からは充実感がうかがえ、この日はまさに、開会式に両組キャプテンが力強く宣誓した「最高の一日」になったのではないだろうか。



火の鳥よ、舞い上がれ

赤組キャプテン 鈴木 亜末

このタイトルは、赤組のテーマです。火の鳥のように、みんなそれぞれの種目で舞い上がってくださいました。特に応援合戦では、練習の時になかなかハカのタイミングが合わず心配でしたが、本番でのタイミングは完璧で、声も出ていたので良かったです。私にとっては、最後の運動会で最高の思い出ができました。みんな、ありがとう。



伯仲した応援合戦

白組キャプテン 佐々木 廉

今年の運動会では、応援合戦が心に残っています。赤組、白組ともに練習を重ねてきたからこそ、チームメイトが丸となり素晴らしい応援にできたのでしよう。私にとっては最後の運動会なのでそう感じるのかもしれませんが、今年も過去最高に洗練された応援合戦だと思いました。本当に甲乙のつけがたい良い応援でした。



趣向走

おにたいじにしゅっぱーつ!

幼稚部担当 鈴木 梨沙

今年の幼稚部は可愛い桃太郎に変身!力いっぱいボールを投げ、鬼退治を頑張りました。一直線にゴールを目指す姿は可愛らしさから一変、とてもたくましく感じました。

小学部トリオ レッツゴー!

小学部担当 佐々木 寿子

小学部では、子どもたちが、元気よくチアダンスやテニス、野球のパフォーマンスを披露しました。それぞれの個性が輝く趣向走に、たくさんの拍手をいただきました。

心を一つに十人十一脚

中学部担当 加藤 智美

今年は、生徒だけで「十人十一脚」に挑戦しました。全員で心と足を合わせ、一直線になってゴールを目指しました。一度も転ぶことなく、見事記録更新もでき、笑顔も最高でした。

以心伝心(十の絆)

高等部担当 季子 康太

今年の高等部趣向走はムカデ走を行いました。本番ではスムーズに進まず悪戦苦闘していましたが、最後まで諦めずに頑張る姿や仲間を応援する姿に、大きな成長を感じました。

新入生の紹介

幼稚園

はじめの一步

幼稚園うめ組担任
鈴木 るみ子
鈴木 梨沙

うめ組にりゅうせいいくんとみさとさんの二人が入学しました。りゅうせいいくんは、初めて会う人に名札を見せてしっかりと自己紹介し、かわいい笑顔をふりまいています。みさとさんは、歌やダンスが大好き。運動会の応援合戦の「恋ダンス」もノリノリで踊っていました。幼稚園で新しい発見や新しい経験を積み重ね、一步一步成長しています。



中学部

未来へ向かって

中学部一年担任
加藤 智美

今年度は、結来さん、里紗さん、陽稀さん、心華さんの四人が仲間入りし、活気あふれる中学部になりました。中一の学級目標は「四人の革命を巻き起こせ!!」未来へ向かって今の自分を変えよう。小学部時代から一緒に仲間ですが、環境が変わり、気分も一新!! これからどんな革命を起こすのか、どんな未来が待っているのかとても楽しみです。



高等部

なりたい自分を目指して

高等部一年担任
鈴木 暁子

今年の一年生は一名でスタートしました。小川優士さんは産業技術科で、木材を使った製品づくりに取り組んでいます。また、陸上部に入部し、大会の会場に向けて日々練習に励んでいます。一人学級ではありますが、優しい先輩方に教えてもらいながら高校生活を楽しくしています。一つずつ経験を積み重ね、「なりたい自分」に向けて成長して欲しいと思います。



手話ランチについて

PTA会長 深澤 美紀子

今年度、手話に触れる時間を作りたいと思い、PTAの前に手話ランチを開催いたします。ぜひ参加して、簡単な手話を覚え、子どもたちに手話で話しかけてみてください。きっと笑顔で答えてくれることでしょう。



全日本聾教育研究大会 (秋田大会) 開催

一関 留美子

十月十九日(木)、二十日(金)、本校を会場に「全日本聾教育研究大会(秋田大会)」が開催されます。大会テーマは、「主体的な学びを通じた確かな学力の向上」聴覚障害教育の専門性の継承・共有を踏まえてです。

一日目は、幼稚園・小学部・中学部・高等部の全学部の授業と寄宿舎を公開いたします。

二日目は、キャッスルホテルを会場に研究協議・分科会が行われます。本研究大会が、本校の子どもたちのよりよい教育活動に繋がるよう努めてまいりますので、保護者の皆様には、大会開催期間中もご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

おみやみ

昭和三十二年に本校の校章をデザインされた、石井柳次先生が去る六月十日、お亡くなりになりました。ご冥福をお祈り申し上げます。(享年八十七歳)

お知らせ

九月十三日(水)に、かがやきの丘三所学校公開があります。ぜひ、ご参加ください。

編集後記

秋田県立聴覚支援学校として、二年目がスタートしました。暑い夏になりそうですが、元気に有意義な夏休みをお過ごしください。

中学部 修学旅行

見て 聞いて

食べて 実感して

中学部三年担任
和泉 緑

中学部三年生三名は五月三十一日から六月二日まで、東京・横浜への修学旅行に行ってきました。

乗って行動することができました。(内山 健太)
☆スプラッシュマウンテンには生徒三人だけで乗りました。最後は三人で手をあげて落ちました。服や髪がびしょびしょになっておもしろかったです。(小玉 彪雅)
☆私は、一生思い出に残る修学旅行だと思いました。それは、初めてやったことがたくさんあって、みんなと楽しみなながら行動できたからだと思います。(鈴木 里桜)

